

# 総合的な学習「大切にしたい！栗林の水を」

## - 節水活動と環境保全活動から -

香川県高松市立栗林小学校 教諭 はた 秦 照幸

### はじめに

栗林小学校の校区には、名勝栗林公園があります。この公園は、大名庭園として全国にも知られ、毎年多くの観光客が訪れる本当に美しい公園です。本校の子どもたちは、ここを活動の拠点としながら、自然環境や文化、人々とかかわりをもち、生き方を学んでいきます。本校で「栗っ子学習」と呼んでいる総合的な学習も、この栗林公園でのいろいろなかかわりから発展しているものです。

栗っ子学習が始まってはや6年が過ぎました。毎年、4年生は、「ふるさとの水」をテーマに学習しています。

高松は昔から水不足に悩まされてきた歴史があり、水の利用については今でも大人も子どもも大きな関心事です。また、現在は大きな川が流れているわけではありませんが、香東川が昔栗林の町を流れていたそうで、その伏流水が今でもこんこんと湧き出ています。栗林公園の池の水もこの伏流水を利用しているのです。製紙工場、造り酒屋、うどん屋さんにもこの水が活用されており、渴水との戦いの一方で人々が水を大切に守り続けてきたことがよく分かります。

4年生の栗っ子学習は、「ふるさとの水」に直接触れ、水環境の変化や水資源の確保についての問

題を正しく理解し、環境保全と資源の有効利用を地域社会に呼びかけていきながら自らの生活を変えていこうとする子どもを育てることが大きなねらいなのです。

### 「公園の水」との出会い

子どもたちは、3年生のとき、栗林公園の生き物についてその生態を調べ、「いのちを育む水」「美しい景観をつくる水」のはたらきを知りました。4年生になって中央公園にあるせせらぎや滝は、人の心にやすらぎを与えることを知りました。さらに、香川用水記念公園では、人々の生活を支える水のはたらきを知り、自分たちが水のあるくらしを築いていくことへの課題意識をもちました。

### 香東川の川筋跡をたどって

4年生の社会科の学習では、香東川の付け替え工事について調べます。400年ほど前に校区を流れていた香東川は、しばしば氾濫をおこして人々を苦しめていたので、西島八兵衛が川筋を付け替えたという史実があります。そのことについて、聞き取り調査をしながらおおよその川筋を確認していました。

そして、度重なる渴水やききんと、ときには大洪



写真1 栗林公園へようこそ



写真2 井戸水だから冷たいよ



水に苦しめられてきた人々の生活の様子を紙芝居にまとめていったのです。

この学習は、香川用水事業の学習ともつないで、水資源確保の大変さを知ることができました。また、川の流れに興味をもった子どもたちのなかには、現在も校区を流れている御坊川をはじめとする地域の河川の汚濁の様子、水質検査、自然の生き物の生息状況の調査等に発展していった子どももいました。

### チャレンジ 節水 !!

香川用水事業の学習を進めているとき「高松砂漠」ということばに、子どもたちは少なからず心の動搖を感じたようです。そして、自分たちにできることの一つとして、節水活動に取り組む子どもが

でてきました。

毎日、朝夕の水道メーターを検針し、1日に学校で使う水の量を調べ、日々の変化を表に表すとともに、全校放送やポスターで節水を呼びかけていきました。また、いろいろな節水方法を紹介し合いチェック表に記録しながら家庭でも取り組みました。平均すると1週間あたり、1家族で1.5立方メートルの節水ができました。このチェック表は、高松市水問題対策室を通して全市の4年生の家庭に配布され、市を挙げての節水活動を呼びかけることにつながりました。チェック表を載せたパンフレットづくりは、毎年続けています。

また、子どもたち自作のビデオ「水不足をなくそう」は地元ケーブルテレビの番組でも取り上げられました。そのほかにも、栗林公園を訪れる人々に

**節水チャレンジ**

**節水!!**

**節水ウィーク2000**

8月1日(火)～8月7日(月)  
高松市水問題対策推進本部 839-2126  
(9月1日(金)までに、担任の先生に出してください。)

4年生のみなさんへ

みんな知っていますか？ 香川県で使っている水の多くは高知県の早明浦ダムからもらっています。でも、その水はいつもあるわけではありません。実際、6年前の夏には水不足になり船水制限が行われ、とてもこまつことがありました。水は限りある大切なしづかんなのです。

そこで水の大切さをもう一度考え方のために、節水してみませんか？ 家族のみなんで話し合って、どんなことをがんばるが決めて節水をしてみましょう。

大切な水をみんなの手で守りましょう。

1/25～1/31までの使用量を調べ、(②)-(④)の間に横に横に並べておけ！

$$\text{③} \text{さう} \text{m}^3 - \text{④} \text{さう} \text{m}^3 = \text{⑤} \text{使った量} \text{m}^3$$

自分の家で節水できた量

1/1～1/7までの使用量を調べ、(②)-(④)の間に横に並べておけ！

$$\text{③} \text{さう} \text{m}^3 - \text{④} \text{さう} \text{m}^3 = \text{⑤} \text{使った量} \text{m}^3$$

冬休み中の生キャラクターも水が少なくなるから、うらやましいで、かわいいで下さい。

アメ横：水道メーター  
イノリント：水の流量  
クノリント：水の量  
ニンリント：水の目盛り

ハイコット  
次の回の水道メーターで、ハイコットが動いて、ハイコットが動いて、メーターカウントがどのくらいで増えています。

このメータはアメ横の水道メーターになります。  
この回の水道メーターは、アメ横の水道メーターになります。

節水力カンパニー表

めあて	1	2	3	4	5	6	7
今日節水力はどれだけかな?	△	△	△	△	△	△	△
あひでかわいた色をぬづれ！自分からした節水の方法を書いてね。							
＜節水方法＞							

\*この節水パンフレットは、栗林小学校4年生のどちらが書いたものとともにしました。後日、市役所からみんなで節水した量について、発表があります。

資料1 節水啓発パンフレット

## 総合的な学習「大切にしたい！栗林の水を」 - 節水活動と環境保全活動から -

香川県高松市立栗林小学校 教諭 秦 照幸

節水パンフレットを配り啓発活動をする子どもたちもいました。のちに、これらの活動に対して励ましのお手紙をいただき、意欲を高めていました。

さらに、節水活動の一つとして、雨水タンクの利用を始めました。ホースで雨どいから水を受けタンクに溜める仕組みです。溜めた水は、植物の灌水に利用しています。

#### 水族館を開いて生き物と水とのつながりを人々に伝えよう

栗林公園の池で水辺の生物を観察していた子どもたちから、近くの川でつかまえたメダカやドジョウ、カワニナ、カメなどを飼いたいという申し出がありました。そこで、ただ飼育するだけではなく水族館を開いて全校生に見てもらうことにしました。その際、生き物がすみやすい環境について本やインターネットを活用したり専門家に聞いたりして調べ、来てくれる人によく知ってもらおうということになり、説明表示を工夫しました。休み時間を使っての開館となりましたが、全校の子どもたちがたくさん参加してくれ、子どもたちも大喜びでした。

#### 川の清掃と環境保全の啓発活動

生き物が生息しやすい環境について知った子どもたちは、いつまでも水槽で飼うのではなく、自然に戻したいと考えるようになりました。しかし、いざ戻すとなると生き物にとってすみよい環境かどうか河川の様子が気になり始めたのです。そこで、川の掃除をしたりパンフレットやポスターで環境保全を呼びかけることにしました。立て看板を作りたいと考えたのですが、安全性と管理の問題からこれは実現できませんでした。

昨年度は、川で筏舟大会を実施しました。川といっても、町中を流れるコンクリートで囲まれた小さな用水路です。しかし、メダカもいれば水草や



写真4 水族館を開いたよ



写真3 雨水タンクを取り付けよう



写真5 川をよごさないで



写真6 楽しかったよ 笠舟大会

藻もしっかりと生え、子どもたちが水環境について学ぶのにも適した場所です。初めて川の中に入ったという子どももいて、大騒ぎ。笠舟の作り方をおばあちゃんから聞いたという子どもは、得意げにみんなに教えていました。

笠舟大会のあとは、もちろん川の掃除です。「どうしてごみを捨てるんだろう。メダカたちの気持ちも考えてほしいな。」と、子どもたちは口々につぶやいていました。

### 栗っ子ウォーターランドづくり

平成11年度の4年生が水環境について調べているうちに、水に親しんだり生き物を育てたりする自然のせせらぎが校内にもほしいという声が高まりました。ここを活動の拠点として、生き物の生息しやすい環境をつくって観察会を開きたいという願いは担任や校長先生を動かし、実現に向けて加速が付いてきました。できあがると子どもたちは「栗っ子ウォーターランド」と名付けて、メダカやヤゴ、カワニナなどの生き物の観察会を開いたり水の流れの実験や雨水タンクの実験コーナーも併設して、環境と資源の両面から水の大切さを全校生に発信してきました。



写真7 きれいな水を守っていきたいよ



写真8 こんなウォーターランドにしたいよ

学校の中庭にできたこのウォーターランドは、できるだけ自然のかたちを残しながら子どもたちが憩い遊べるスペースでありたいというコンセプトで造られています。ガマやススキを植えたほか、子どもたちが雑草を植えたりもしました。また、どこからかサギが舞い降りてきたりもします。

## 総合的な学習「大切にしたい！栗林の水を」 - 節水活動と環境保全活動から -

香川県高松市立栗林小学校 教諭 はた 照幸



写真9 工夫してつくりかえっているよ

昨年度の4年生は、水の輝きを感じてほしいということで滝や水車、噴水を作り設置しました。栗っ子ウォーターランドは、そのときそのときの子どもの手によってつくり替えられています。

#### 地域社会への発信活動

栗っ子学習の成果は、学習発表会を中心に地域社会へも発信しています。昨年度は、香川県中央生活センターの協力で、「みんなの生活展」に参加させていただき発表の機会を得ました。「ふるさとの水」の現状と学習の成果を発表し、節水と環境保全を呼びかけました。

#### 緑のダムづくりへの参加

水をテーマにした学習は、5年生で実施する高知県大川村自然体験学習へと発展します。そして、香川用水の水源である大川村の森に緑のダムづくりをする活動へつながっていきます。

#### おわりに

以上の活動は、ここ3年間の4年生の活動をまとめたものです。年間約60時間をかけ、子どもたちがそれぞれの課題意識をもって取り組み、自分たちの力で解決してきたものです。



写真10 地域の人にも伝えたよ



写真11 緑のダムをつくろう

子どもたちとともに活動していると、わたしたちは、その思いの深さや行動力に驚かされました。そして、大人であるわたしたちこそ、節水と環境保全に前向きに取り組んでいかなければならないと考えさせられました。

今後も、「ふるさとの水」を守っていくために、子どもたちとともに地道な活動を続けていきたいと思っています。